



第2回にちなんサポート 好評！ 特別講座開催

鳥取県内で注目を集めている「にちなんサポート」が、5月24日(土)に実施されました。「にちなんサポート」とは、土曜授業です。児童生徒の学力向上と保護者の学校参観及び研修の機会とすることを目的に実施されるものです。

このたびは本事業の2回目、米子市の学校法人-ismの4人の先生と吉野理事長さんによる「特別講座」と「保護者研修会」が行われました。また、小学校上学年保護者には、西部教育局生田信樹さんによるワークショップが開催され、楽しい研修会が行われました。

特別講座は、小学校4年生から中学校3年生までの6つの学年で各2時間ずつの授業でした。小学生は国語と算数、中学生は数学と英語の授業で、児童生徒はプリントを中心にして、電子黒板を活用した授業を受けました。ものめずらしさもあってか、とても集中した学習態度でした。



また、1・2年生は「1年生をむかえる会」を、3年生は「親子クッキング」を行いました。特別講座は、おおむね児童生徒・保護者ともに好印象のようでした。

好評！ 保護者研修会

小学校の保護者研修会は、西部教育局生田信樹さんによる「親ができる子どもの学習支援のコツ！」と題して、ワークショップが開かれました。各グループで楽しく語り合い、子どもの学習意欲を高める親の声かけについて学びました。

「がんばっていたものね。一生懸命やってるから、お母さんはすごいと思った。』と言うように、先ず過程(プロセス)をほめ、次に、子どもに寄り添う声のかけ方(勇気づけ)が、圧倒的に子どもたちの意欲を掻き立てるとの実態が紹介されました。



中学校の保護者研修会は、学校法人-ism(若葉学習会)の吉野恭治理事長さんによる「今日からできる家庭学習のコツ」と題した講演でした。中学生の各学年での家庭学習の仕方や入試にむけてのアドバイス等が講演の中心でした。「親の言葉かけ等のアドバイスがとても印象的でした。」と保護者の声。親として子どもとのかかわり方について参考になる講演でした。